

五十嵐ゆうこの米國小売業最新レポート
2022年5月27日
Reusable Bag Rental Program
ニュージャージー州のTargetやCVS店舗で
リユーズブル・バッグのレンタルプログラムを開始

2022年5月から使い捨てレジ袋の使用が禁止されたニュージャージー州でアプリとキオスクシステムを活用し、清潔で再利用が可能なバッグを消費者へ提供する『Goatote』の利用が試験的に開始されます。



現在、食品小売業の取り組み課題である“二酸化炭素排出量の削減”を目指す為、店舗で提供するプラスチック袋に代わる新たなサービスです。

まず始めにニュージャージー州の Target の数店と CVS ドラッグストアチェーンの店舗で再利用可能なバックのレンタルシステムを導入しました。

レンタルしたバックは 30 日以内にキオスクがある場所ならどこでも何枚でもまとめて返却出来るそうです。



この再利用可能なバッグのパイロットプログラムは、Closed Loop Partners と Consortium to Reinvent the Retail Bag が合同でスタートし、2021 年に Goatote と技術パートナーの 99Bridges が参画しました。

今後は Target、CVS、Walmart、Kroger、Dollar General、Albertsons、Ahold Delhaize、H-E-B などとも協力しながら事業拡大する予定です。

Closed Loop Partners の循環経済センターマネージングディレクターのケイト・デイリー氏は、「政府の政策変更とプラスチック廃棄物の危機喚起の中、再利用可能なバックの代替品に対する需要が高まっています。我々は再利用可能な

バックのソリューションをさらに開発・拡大し、継続的に小売業の現場に変革を与えることを期待しています」と語っています。

Target の企業責任担当である Amanda Nusz 氏は、今この試験的な取り組みが行われるタイミングはタイムリーであると述べ、「私たちのお客様は廃棄物の増加に負担を感じており、その中には使い捨てプラスチックのバックが多く含まれています。Goatote のような試験的イノベーターとコンソーシアムの総合的努力によって、この分野で循環型の能力を構築することが可能となり、消費者も共に持続可能で安価な解決策の共同作成に協力してもらうことができるのです」と言及しています。

Goatote 社の共同設立者レニー・ルンダール氏も「使い捨てプラスチックバッグの使用を禁止し、または今後、禁止を予定している都市、州、国において Goatote 社が再利用可能なバッグシステムを導入することは、使いやすさを提供し、環境への悪影響を軽減するために重要であると確信しています。」と述べています。

今回テスト導入を行う Target は、ミネアポリスに本社を置き Progressive Grocer が 2022 年に発表し、北米で約 2,000 の拠点を持つ食品・消耗品小売業者のトップリスト「The PG 100」で第 6 位にランクインしています。

そして全国に約 10,000 店舗を展開しアイルランド・ウーンソケットに本社を置く CVS は The PG 100 の 7 位にランクインしています。



2020年の春、米国でロックダウン直後にマイバッグに付着する感染物質への恐れから、コロナ前から環境対策として普及していた有料レジ袋と自分でバッグを持参するショッピングスタイルは一旦、停止しました。

感染が収まるまでの間、ほとんどのグロサリー店では無料でレジ袋を提供しました。

そしてワクチン接種が拡大し、感染者数も落ち着いてきた現在、コロナ前のようにレジ袋は有料となり、マイバックの持参が復活しています。

約2年間、すっかりレジ袋に慣れてしまっていたのでマイバックを持参し忘れ、ショッピングが多いときはプラスチック袋を購入してしまいます。

統計では現在でも年間1千億枚のプラスチック袋が米国で使用されており、リサイクルされるのは10%未満との報告があります。

清潔に保たれた状態のレンタル袋をいつでも使用できるなら、家や車の中にマイバックが溜まることも無く、再び新しい感染症が流行することがあっても安心です。

町中で、徒歩でショッピングする際もバックを持参しなくてもよいのはお手軽ですし、急にショッピングをする際にプラスチック袋を仕方なく購入し、生じる廃棄の減少にも繋がります。

このような仕組みは本当に革新的なSDG'sであり、近い将来には世界中で広がるべきだと思います。

